

作成日：2022年11月21日

研究協力のお願

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

強膜フラップ併用強膜内固定フランジ法の試行

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象：当院にて眼内レンズ固定術にて強膜フラップを併用した強膜内固定術フランジ法を施行した患者さん

研究対象期間：2022年4月1日から2022年9月30日まで

2. 研究目的・方法

研究目的：強膜フラップを併用したフランジ法を使用して眼内レンズ固定術を施行した患者さんを対象に、術式の安全性を検討します。

研究方法：2022年4月1日から2022年9月30日の期間に昭和大学藤が丘リハビリテーション病院にて眼内レンズ固定術にて強膜フラップを併用した強膜内固定術フランジ法を施行した患者さんを対象に、術式の安全性を検討するために、患者さんの背景（性別、年齢）、術中・術後の眼圧、視力、合併症、術後の眼内レンズの偏心と傾斜を調査項目として評価します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目：患者さんの背景（性別、年齢）、術中・術後の眼圧、視力、合併症、術後の眼内レンズの偏心と傾斜

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連

絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 眼科 氏名：藤森 琢磨

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1 電話番号：045-974-2221

研究責任者：藤森 琢磨